

平成25年 9月13日(金) 発行



# 高大附高だより

編集 高崎商科大学附属高等学校父母の会  
〒370-0803 高崎市大橋町237-1 TEL (027) 322-2827



平成25年度全国高等学校総合体育大会 7月28日(日)～8月20日(火)

吹きおろれ  
若人の風 北部九州へ

2013 未来をつなぐ 北部九州総体



(写真提供) 森本純生校長、他

第72号

2013・9

## ご挨拶



父母の会会長  
今井 敏博

平成二十五年度、父母の会会長に就任いたしました、今井と申します。どうぞよろしくお願ひします。五月に開催されました父母の会並びに部活動後援会の総会では、大変お世話になりました。新役員一同父母の会会員の皆さまのご協力ご指導のもと精一杯頑張つていきます。さて六月末から七月中旬にかけて行われました学年・学級懇談会では多くの会員の皆さまにご出席いただき、実りある内容で無事終了することができました。是非家庭内におかれましても今回の体験を通して得た情報を生かして家庭内教育に一層尽力されますようお願ひいたします。

人生に悩んだら「日本史」に聞こうという本の中に「かくすればかくなるものと知りながらやむにやまれぬ大和魂」という一節があります。こんな事をすれば私は捕らわれ、命を落としてしまう事になるかもしれない。でも日本をよくしたいというこの思いは、やむにやまれないんだという気持ちを詠んだものです。私はこの歌が大好きです。こういつた先人に出会う事で人は、多くの事を学べ成長していけるものです。幸せの種は歴史のなかにあるのかもしれないね。皆さんも心のよりどころを見つけ今の自分を見つめ直して、自分らしく生きていってほしいと思います。多感な高校生という時期だからこそ学べる事がたくさんあると思います。未来を担う生徒皆さんが、この高崎商科大学附属高校で大きく成長される事を願っております。

私達父母の会といたしましても学校と相携え未来を担う生徒達のために教育環境の充実と又保護者の一人として、しっかりと家庭教育が出来る様、日々精進して頑張つていきます。

結びに、商大附高校並びに関係各位の皆さまの益々のご活躍とご多幸をご祈念申し上げます。

## ご挨拶



理事長・校長  
森本 純生

昨年度より一〇〇人多い六一六名の新入生を迎えてスタートしました平成二十五年度も、父母の会・後援会の皆様の応援と協力を頂いて、多くの行事において所期の成果を得て五ヶ月が過ぎました。猛暑の夏休みも、熱中症の生徒が数人出ましたが大事に至らずほっとしているところです。建築の進んでいた第七校舎も完成し、図書室・学習室の利用を開始しましたが、生徒諸君が積極的に活用してくれ、大変うれしく思っております。普通教室は講義室として同時解体授業や補習授業に使っております。今年も新入生が多かった為、危うく教室数が不足するところでしたが新校舎ができたお陰で助かりました。

第七校舎の完成に続いて、正面の本館の立て替え工事に移ります。

現在、旧校舎の解体をしておりますが、長い間親しんだ校舎と別れるのは寂しいものがあります。特に私にとっては本校に勤務して初めての大きな仕事の本館の建築でした。創立七十周年の記念事業として、最後の木造校舎を鉄筋校舎に建て替えました。本年が創立一〇八年目になりますので、三十七年前のことです。当時はまだコンビニの無い時代で、お昼はお弁当かパンの販売のみでしたので、一階の部分に当時は珍しい学生食堂を造りました。定食・カレーライス・ラーメンなど温かい食事ができ、短時間でラーメンの麺が次々と茹で上がる「自動麺茹で機」も導入し、毎日生徒で満員でした。しかし時代が変わりコンビニが昼夜営業をするようになると、利用者は少なくなり、コンビニの食べ物まで持ち込むようになりました。やむなく食堂を閉鎖して図書室に変えた経緯があります。

今回の建築は耐震の為の改築であります。工期が長引き色々な自由がありますが「プレハブ校舎での授業を避けること」と「校庭や施設を使用しながらの工事」を目指しておりますので期間が長く

# 学年委員長挨拶

掛かることには、ご理解を頂きたい  
と思えます。

二学年委員長 五十嵐 栄子

今年度学年委員長を務めさせて  
いただく事になりました。宜しく  
お願い致します。

父母の会、学年学級懇談会への  
ご出席ありがとうございました。  
学年テーマの「進路達成に向けて」  
の宇佐美先生の講演会、担任の先  
生のお話など、有意義な時間を過  
ごされたのではないのでしょうか。

最終学年の夏も終わり、目標を  
達成する為に頑張り、努力しまし  
た。それが自信となり、花開く事  
を誰もが願っています。その為に  
は学校、先生、親、皆が協力を惜  
しむ事はないでしょう。

自分を支えてくれた全ての人に  
感謝を忘れずに、これからの半年  
心身共に健康に気を配り、最後ま  
で諦める事なく乗り切つてほしい  
と思えます。

皆様の未来が「輝かしい未来」  
でありますようお祈り申し上げます。

二学年委員長 吉原 秀忠

本年度も昨年度に引き続き学年  
委員長を務めさせて頂きます吉原  
です。どうぞ宜しくお願い致しま  
す。

平成二十五年度が始まって早い  
もので半年が過ぎ、二学年の方々  
は、これからの進路を決めていく  
為の大切な時期に入つてまいりま  
した。一学期に学年学級懇談会で  
進路説明会が行われましたが、各  
会場に分かれて詳しい説明を受け、  
保護者の方々も子どもの今後の進  
路についてとても参考になつたと  
思います。家で子どもさんと進路  
についてお話された方も多いので  
はないでしょうか。なかには将来  
の進路に向け目的意識を持ち、生  
活が出来ているお子さん多いと思  
いますが、この時期子どもたちは  
学校にも慣れ友達との交流関係  
に夢中になり、中だるみをしてし  
まいがちな時で進路について親子  
の温度差が出てきてしまつていて  
方も多いと思えます。思春期の難  
しいこんな時こそ、子どもたちの  
遊びたい、自由にしたい、という  
気持ちを含みながらも私達親が気  
を緩めることなく、「よく遊び、よ

く学べ」の精神を持ち、校長先生  
をはじめ、教職員の皆様の力をお  
借りし、後悔のない高校生活を送  
れるよう、サポートをしていくこ  
とが大切だと思います。皆様の前  
途ある将来に期待し、また希望が  
叶うよう願つております。

一学年委員長 中村 純也

今年度一学年委員長を務めさせ  
て頂きます、中村と申します。皆  
様と一緒に子ども達が充実した高  
校生活を送れるよう頑張りたく  
と思います。どうぞ宜しく願  
いたします。

充実した日々を送るには、まず  
規則正しい生活習慣が必要である  
という事は間違いありません。昔  
と違い今はスマホやパソコン、携  
帯ゲーム機等の娯楽の多い時代で  
す。これらは現代人のコミュニケーション  
ツールとして必要な部分で  
もありますので、適切な指導をす  
ると共に各家庭での時間等のルー  
ルを決めて使用させる事が望まし  
いと思えます。また、強い身体と  
精神を形成する三年間でもありま  
すので、学習も大切ですが、ご家  
庭での食事と睡眠時間の確保は特  
に注意して頂きたいと思えます。

生徒の皆さん、長い人生の中で  
とても大事な三年間の高校生活で  
は、勉強も部活も趣味も何でも吸  
収し放題です。努力すれば必ず報  
われるとは言いませんが、努力し  
ないで報われる事も絶対ありま  
せん。ご両親からもらった超伸び  
盛りの頭脳と身体能力で高校生活  
をやり多いものにしてください。

## 出席者感想

普通科特進三年 寺 沢 由 加

六月二十三日、その日一日の暑  
さを感じさせるかの様な強い日差  
しを浴びた講堂で、第三学年・学  
級懇談会が行われました。

第一部の学年懇談会（進路講演  
会）が行われた講堂は、大勢の保  
護者で埋め尽くされ、皆真剣な面  
持ちで張りつめた空気に、私も背  
筋が伸びる思いでした。

第一部では、ライセンズアカデ  
ミーの宇佐美正利先生を講師にお  
迎えし「高校生の進路と家庭の支  
援」について、お話を伺いました。  
進路選択・就職の現況、今昔と  
の相違点等、今現在豊富な活動経



験をお持ちの宇佐美先生のお話、私は多くの気付きを得、考えさせられました。

進路選択においては、何より子どもが主役・主体であるべき事。

進路には就職が直結と考え、子どもの夢・希望・強い意志が不可欠であるという事。それらを念頭に、親子共に、最高の笑顔で卒業式に臨める様、全力でサポートしていききたいと思っております。

普通科進学三年 木村 恵美子

三学年の懇談会が、六月二十三日、「進路達成に向けて」というテーマで行われました。

第一部の全体集会では、ライセンスアカデミーの宇佐美正利先生をお迎えし、進路に向けての具体的な講演をして頂きました。

バブル期以降の日本の企業の、就職状況の大幅な変動により、高卒での就職が狭き門になり、大学や専門学校への進学化が進み、その為の大学選びや親の心構え、また、学生達の就活に対する現在の問題点等を具体的な例として挙げた講演でした。

二部の学級別懇談会では、担任の先生からのこれからの具体的な

お話、気持ちも引締まりました。グループ別でも活発に意見がかわされとても充実した一日となりました。夏休み中にオープンキャンパスや三者面談と忙しい日々となりますが、納得のいく進路となるように親としても子どもと共に頑張っていきたいと思えます。

総合ビジネス科三年 佐藤 昌美

三学年懇談会は、学年統一テーマ「進路達成に向けて」を議題に、全体会では、ライセンスアカデミーの宇佐美先生の進路講演会が開催されました。日常生活の中で、進路や職業を話題に、家庭でのコミュニケーションを取り、高校との連携を計り、進路選択に役立てる事など具体的なお話を聞く事が出来ました。そして、「自分が決めた進路」という気持ちで臨めるようサポートしていこうと思えます。

学級懇談会では、金井先生よりクラスの様子、進路状況、日程など説明をしていただきました。グループ懇談もあり、日頃の子どもの様子や、進路選択において家庭での様子等、話を伺う事が出来、有意義な時間が持てました。そして、高校生活を通して、多くの友

達に恵まれ、先生方にも目を配っていただき楽しい日々を過ごさせて頂いている事に感謝しています。

進路達成に向け、一層努力し、晴れた気持ちで卒業式を向かえられるよう、見守っていききたいと思えます。

普通科国際文化コース三年 佐藤 弘子

六月二十三日、三学年の懇談会が行われました。

第一部は全体会でライセンスアカデミーの宇佐美先生の進路講演会でした。目的を明確にした進路選択をすること、企業が求める「社会人基礎力」などとても参考になりました。お話の中で一番考えさせられたのは、子どもとのコミュニケーションのとり方です。「好きにすれば」はゼロストローク(無視)状態であるという言葉が印象に残りました。部活動を引退した今、進路についてじっくり話し合いたいと思います。

第二部は学級懇談会で、担任の先生よりクラスの様子や入試について詳しい説明がありました。国文コースは三年間同じ仲間です。

それぞれ納得のいく道へ進めるよ

う頑張ってもらいたいと思えます。そして、全員が笑顔で卒業の日を迎えられるよう願っています。

普通科特選二年 田村 桂子

七月七日、二学年の学年学級懇談会が開かれました。

学年懇談会は、宇都宮大学・東洋大学をはじめ講師の方々をお迎えし、進路別に十会場に分かれて行われました。

各会場では、それぞれの学校の特徴、受験情報、就職に関する状況など、保護者の「知りたいこと」をわかりやすく説明していただき、有意義な時間をもてました。

学級懇談会では、内田先生からクラス全体の様子や二年生として最大行事である九州への修学旅行の説明がありました。

このような学年学級懇談会を企画していただき、本当によかったと思います。

高校生活も半分を過ぎようとしています。先生方の親身なご指導に感謝し、各家庭においても、子ども達が充実した高校生活を送れるよう応援していきたいと思っております。

## 普通科進学二年 阿久津道子

高校生活も二年目に入り、子ども達は、勉強に部活にと、充実した日々を送っているようですが、そろそろ、自分の進路について真剣に考えなければならぬ時期にさしかかってくるのではないのでしょうか。そして、子どもが迷っている時に相談に乗れる様、親も沢山の情報が必要になります。今回二学年、学年・学級懇談会は「進路について考える」というテーマで行なわれ、第一部の分科会では十の系統・分野に分かれ、それぞれ講師の先生が、わかり易く説明して下さいましたので、とても参考になりました。第二部の学級懇談会では、先生からクラスの様子を聞く事が出来、他のお母様方から家での様子等聞く事が出来て、大変有意義な学級懇談会でした。

緒に成長していきたいと思います。ご指導宜しくお願いいたします。

総合ビジネス科二年 永井由美子

高校生活二年目を迎え、無事、充実した日々を送らせて頂いております。

今年も学年・学級懇談会に参加させて頂き、今年は「学年統一テーマ」「進路について考える」各会場にて、進路コース別に講師の先生のお話を聞きました。私は、経済・経営・情報・商学について、専門分野「考え方の習得」大学進学後の過ごし方等、沢山、参考になるお話が聞けて良かったです。

クラス懇談会では、須藤先生より、日々の学校生活の様子や、夏休中にある行事内容説明や、二学年最大の行事といえる修学旅行等の説明、総合ビジネス科二学年としてのテーマ「遅刻撲滅運動」等雑談等交えながら、限られた時間ではありましたが、和やかに有意義な時間を過ごす事が出来ました。子どもの進路について、今後とも親子で向き合って話をして見守って行こうと思っております。今後、ご指導よろしく願います。ありがとうございました。

## 普通科特選一年 小林衣代

四月に入学してから子ども達は新しい環境にも慣れ、おかげ様で充実した毎日を送っています。

今年が第一学年の学年・学級懇談会が六月三十日に行われました。第一部の学年懇談会では、三年後を見据えた重要な話を聞くことができました。

第二部の学級懇談会では、一組を担当している茂野先生から、希望進路調査状況の報告とクラスの様子の説明がありました。一組はクラスの雰囲気がとても良く、団結力もあり、勉強だけでなく何事にも一生懸命頑張っている、という話をお聞きし、この調子で三年間学校生活が続けられれば、と感じました。その後各グループに分かれて、資料を参考に子ども達の様子について話し合いました。特にスマートフォンの使用状況については、多くの家庭で悩んでいる様子で、複数のグループから、スマホばかり見ていると困っているという意見が出されました。子どもが高校生になってからは保護者間の係わりがほとんど無かったので、今回限られた時間の中で

したが、クラスの保護者の方たちと有意義な時間を過ごすことができたことをお礼申し上げます。

普通科進学一年 小島 敏

兄の背中を追いかけて商大附高へ入学し、学校生活にも慣れてきた様子が日々の会話から伺える様になりました。

一学年の懇談会は、六月三十日に行われました。

第一部では生活、進路、海外研修の説明を受けました。目的を持った学習の必要性、高一の学習習慣の確立が目標達成の鍵等、既に次のステップがスタートしている事に気が付き、今が肝要と思う親心が伝わってくれたら嬉しいばかりです。又、時代が求めている力「踏み出す力、チーム力、考え抜く力」の説明では、大変共感を覚えました。

第二部の学級懇談会では、柄澤先生よりクラスの現況や進路説明の後、自己紹介、家庭での様子など貴重な意見を全員より聞く事が出来ました。出席率の高い懇談会も、いつしか座談会へと変わっており、大変有意義な時間を共有できたと思います。

普通科国際文化コース一年 戸塚育美

入学し初めての父母の会、学年級懇談会が行われました。

全体会では、今の厳しい時代を生きて行くために早からの本人の意欲、決意で進路を切り拓いていかななくてはならない事を思い知らされました。

学年級懇談会では、「充実した高校生活を送るために…」の学年テーマにそって、先生に事前にとつて頂いた子ども達の生活に関するアンケートをもとに、家庭での子ども達の様子や親子のコミュニケーションの取り方などたくさん意見を交換する事ができました。さすが出席率がほぼ一〇〇%と行われている学年級懇談会だけあり、とても有意義で貴重な時間をクラスメイトのご父母の皆さんと共有することができ、とても良かったと思います。

これからも商大生である子ども達を信じ、将来の夢の実現に向け「充実した高校生活」を送ってほしいと思います。



### 部活動後援会 平成24年度決算報告書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位：円)

収入の部				
科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
会 費	22,824,000	23,049,000	△225,000	@1,500×15,366人(月平均 約1,280人)
入 会 金	2,030,000	2,030,000	0	@5,000×406名(新入生406人)
賛 助 費	3,300,000	3,300,000	0	父母の会 300万円 同窓会 30万円
車輛償却引当預金取崩収入	7,500,000	7,500,000	0	車輛償却引当預金取崩
寄 附 金 収 入	900,000	755,430	144,570	自動販売機売上手数料
受 取 利 息	10,000	1,694	8,306	定期預金・普通預金
前年度繰越預り金	4,790,280	4,796,141	△5,861	春高バレー預り預金・受取利息
前 年 度 繰 越 金	4,553,017	4,553,017	0	普通預金 3,279,445円 現金 1,273,572円
合 計	45,907,297	45,985,282	△77,985	
支出の部				
科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
大 会 費	17,500,000	15,100,965	2,399,035	全国(インターハイ新潟北信越、選抜 長崎・和歌山) 関東、県大会等
報 償 費	4,500,000	4,052,700	447,300	講師、コーチ等の謝礼
合 宿 費	1,300,000	1,023,980	276,020	強化合宿・校内合宿補助
備 品 費	2,000,000	1,331,850	668,150	バスケット部ユニホーム・吹奏楽部楽器修理・他
強 化 費	2,600,000	2,838,910	△238,910	強化大会等経費・講習会・施設利用料
渉 外 費	300,000	303,760	△3,760	大会パンフレット協賛金、他
車 輛 運 営 費	1,700,000	1,486,355	213,645	車輛燃料代、マイクロリース料
車 輛 購 入 費	7,500,000	7,299,030	200,970	マイクロバス入換え
部 活 動 振 興 基 金	3,000,000	3,000,000	0	特別繰越金
雑 費	30,000	23,100	6,900	バレー部OG石田広援横断幕
[ 予 備 費 ]	100,000	0	100,000	
預り金次年度繰越金	4,790,280	4,796,141	△5,861	春高バレー預り預金 4,796,141円
次 年 度 繰 越 金	587,017	4,728,491	△4,141,474	普通預金 3,023,650円 現金 1,704,841円
合 計	45,907,297	45,985,282	△77,985	

強化費・渉外費の予算超過額については、他科目予算残高で科目間流用いたしました。

寄附金収入について 校内に設置してあります自動販売機は購買部で管理していますが、売上手数料につきましては部活動後援会に寄附をして頂いております。

#### ※特別繰越金

科 目	金 額	科 目	金 額
部活動振興基金	前期末積立累計額 3,500,000	車 輛 償 却	前期末積立累計額 7,500,000
	当 期 積 立 額 3,000,000	引 当 預 金	当 期 積 立 額 △7,500,000
合 計(当期末積立累計額)	6,500,000	合 計(当期末積立累計額)	0

上記の通り決算報告致します。

高崎商科大学附属高等学校

部活動後援会 会長

〃

部活動後援会 会計

〃

事 務 局

## 父母の会 平成24年度決算報告書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位：円)

収入の部				
科 目	予算額	決算額	差異	備 考
会 費	15,216,000	15,366,000	△150,000	@1,000×15,366人(月平均 約1,280人)
入 会 金	2,030,000	2,030,000	0	@5,000×406人(新入生406人)
受 取 利 息	10,000	2,777	7,223	定期預金・普通預金
衛 生 費 収 入	1,288,000	1,288,000	0	@1,000×1,288人
前 年 度 繰 越 金	3,424,306	3,424,306	0	普通預金 1,062,568円 現金 2,361,738円
合 計	21,968,306	22,111,083	△142,777	
支出の部				
科 目	予算額	決算額	差異	備 考
備 品 費	450,000	388,500	61,500	第5校舎冷水機入れ替え(2台)
会 議 費	1,200,000	1,115,801	84,199	役員会・学年・学級懇談会経費
慶 弔 費	300,000	302,200	△2,200	香典・花輪・餞別
補 導 費	100,000	60,205	39,795	情報交換会・校外の生活指導費等
環 境 整 美 費	1,300,000	1,090,726	209,274	校舎校庭の整備・掃除用品・ゴミ処理代
保 健 衛 生 費	1,500,000	1,380,541	119,459	汚物処理・保健室薬品代等
旅 費 交 通 費	250,000	68,260	181,740	役員研修交通費等
部 活 動 賛 助 費	3,000,000	3,000,000	0	部活動後援会の補助
通 信 費	50,000	4,069	45,931	会員連絡用切手・封筒印刷
消 耗 品 費	30,000	5,838	24,162	コピー用紙等
進 路 対 策 費	1,700,000	1,290,130	409,870	進路資料・2013年度版大学入試シリーズ・講演会
生 徒 会 事 業 協 力 費	1,800,000	924,020	875,980	芸術鑑賞(Hospital Hospital)・予餞会・生徒会協力金
卒 業 生 記 念 品 費	260,000	220,000	40,000	卒業祝紅白餅
教 育 研 修 費	750,000	394,560	355,440	教職員研修補助
印 刷 費	700,000	606,900	93,100	商大附高だより・学年学級懇談会結果報告書
車 輛 運 営 費	1,800,000	1,540,688	259,312	車輛燃料代・車輛リース代
諸 会 費	2,300,000	2,155,560	144,440	PTA連合会費・スポーツ振興センター負担金・他
雑 費	150,000	106,025	43,975	大会協賛パンフレット広告料等
車 輛 償 却 引 当 預 金	1,000,000	1,000,000	0	特別繰越金
創 立 110 周 年 記 念 事 業 費	2,000,000	2,000,000	0	特別繰越金
育 英 基 金 協 力 金	1,000,000	1,000,000	0	学園育英基金
[ 予 備 費 ]	100,000	0	100,000	
次 年 度 繰 越 金	228,306	3,457,060	△3,228,754	普通預金 2,165,115円 現金 1,291,945円
合 計	21,968,306	22,111,083	△142,777	

(注) 慶弔費の予算超過額については、他科目予算残高で科目間流用いたしました。

### ※特別繰越金

科 目	金 額	科 目	金 額
車 輛 償 却 引 当 預 金	1,600,000	創 立 110 周 年 記 念 事 業 積 立 金	9,000,000
	1,000,000		2,000,000
合 計 ( 当 期 末 積 立 累 計 額 )	2,600,000	合 計 ( 当 期 末 積 立 累 計 額 )	11,000,000

上記の通り決算報告致します。

高崎商科大学附属高等学校 父母の会 会長  
 " 父母の会 会計  
 " 事 務 局



父母の会総会報告

平成二十五年度高崎商科大学附属高等学校「父母の会・部活動後援会総会」が五月十八日(土)午後二時から本校講堂にて開催されました。下川会長の挨拶、学校長より挨拶、学校の近況報告の後、議事に入り事務局より平成二十四年度事業報告、決算報告、監事より監査報告があり、審議の結果承認されました。続いて本部役員の変更にて平成二十五年度の新会長に今井敏博氏が選出されました。副会長三名以下総勢四十一名の役員を選出、承認され新役員を代表

父母の会本部役員 (部活動後援会本部役員)

Table with 3 columns: Position (e.g., 会長, 副会長, 書記), Name, and Phone Number. Lists members of the Parents' Association and their contact information.

して今井新会長より挨拶がありました。続いて平成二十五年度事業計画案、予算案が提出され審議の結果、原案通り承認されました。最後に父母の会、部活動後援会にご尽力頂きました下川強前会長、退任された本部役員の皆様に、学校長より感謝状及び記念品の贈呈が行われ、退任者の挨拶・閉会。会員皆様のご協力をもちまして無事に総会を終了する事が出来ました。ありがとうございます。 新年度の本部役員は、別記の通りです。本年度も宜しくお願い申し上げます。(書記樋口和明)

一年生父母が語る

我が子に望む 高校生活

普通科特選 磯野裕子
我が子ながら高校の制服姿にほれほれとした日から三ヵ月。家庭的で羨ましい学校のお陰もあり、今では自主的に勉強し体を鍛え、食事や身支度洗濯など日常生活も自立しつつ、成長を感じさせる君ですが、老婆心のアドバイスを…。現代は物と情報の洪水です。TV・PC・携帯、何時でも何でも手に

入る店：こんな誘惑を遠ざける事など誰にもできません。唯一、自分自身の鋼鉄の意志が頼りです。社会には早い者勝ち・金が正義・目的の為なら手段を選ばずの風潮が広がり、ネット依存症や携帯電話の奴隷が増えています。人間としての感覚が鈍麻して感性が歪み、思いやりが無くなり、家庭でも各々が好き勝手に暮らし、親は金の為だけの存在となつていきます。家庭はもつとかけがえのないものです。ゲームや動画のペースに嵌らず、かけ流しはしないで、本を読み文を書き、友と深く語り合ってください。大自然は解毒剤です。早寝早起きして朝日を浴び、静寂を味わい、瞑想して下さい。

普通科特選 榎本恭子

親と一緒に暮らす貴重な三年間です。生涯の友を得る高校生活と共に明るく楽しい家庭生活を！
不安と複雑な思いを抱え高校生の親となりました。親子共々多少の苦労は我慢すべしと覚悟してありましたが、日々の楽しさが子どももの自然な会話に表れ、胸のつかえが溶けました。この新境地を謳



歌している我が子に望むことは、今何をしたらよいかをくみ取って欲しいことです。

父母の会では保護者に向けて早速進路の説明がありました。一年生のこの時期から進路を見据えるべきと情報を頂けたことは家庭にとっても気が引き締まる喝となりました。この先生方の方針や家族の思いを素直に受け止めてくれることを望みたいのです。時期を逃さず、苦い思いに屈せず、なりたいた目標に近づいている自分を作っておいて欲しい、切なる思いです。けれど子どもを取り巻く環境は複雑です。特に高校生は私達親の知るよしもない高く厚い壁に阻まれることも否めないでしょう。毎朝勢いよく自転車をこぎ出す子を見送りたくまじさと勇気を支えているクラスや部活、友人達に感謝の気持ちで一杯になります。どうかこの勢いが卒業まで止まりません様にと願ってやみません。

普通科進学 猿谷 正広

「自身の夢に向かって、がんばろう。」 高校生活が始まって、数ヶ月。日々成長しているわが子

を、頼もしく思っている反面、中学校時代とは違い、学校での出来事、家庭内での何気ない会話が少なくなってきた。成長していく上でのひとつの過程とは理解できるが、親としては一抹の寂しさがあるのが現状である。

自身が、学生であった時は、親教師から、何か言われると、無理に反抗していたことを思い出す。我が子はどうであるか。「うざー。」と、決め事のように言われる反面、毎日の高校生活がとても楽しんで満喫できているようである。「これでいいのかな。」とも泣いたり笑ったりする仲間をつくり、楽しみながら充実した学校生活をおくることが、その中で、自身が大切に思うことを、将来に照らし合わせ、しっかりと学んでくれれば。若いうちは、たくさん可能性を持っていることを忘れず、高校時代にできないたくさんのことを、チャレンジしてもらいたい。健闘を祈る。君の未来がまぶしすぎて見えないほどの、幸多きことを祈る。

普通科国際文化 小宮山 瑞穂

高校受験も終わり、晴れて高校

生になったと思っていたら、もう一学期も終わるうとしています。当初は、新しい生活に馴じめるだろうかと不安でいっぱいでした。ですが、今ではすっかり学校生活にも慣れ、新しいお友達もたくさんできた様で、親としても一安心しております。毎日楽しそうに学校の様子を話す姿を見ると、本人の希望通りに商大附高に入学でき、本当に良かったと思っております。まだ進路については決まっていない様ですが、留学を希望しておりますので、まずは試験に合格できる様、努力を惜しまず頑張ってください。親としても応援し、協力していこうと思っております。

そして三年間の高校生活は、あっという間です。自分の夢に向かって良き先生方、良き仲間と充実した高校生活を送ってほしいと願っております。

総合ビジネス科 佐藤 玲子

音楽センターでの入学式から四ヶ月が経ち、慌ただしい毎日ではありますが、楽しく学校生活を送れているようです。

「商大附高に入学したら、検定をいっぱい取りたい。」との決意を娘から聞いた時、専門分野の授業という事もあり親として正直なところ少し不安もありました。でも、娘が話してくれる学校での様子を聞き、また教科書や授業でのプリントを見せてもらうと、難しく大変な事もあるようですが、高校卒業後のステップに向けて本人なりに頑張っているようです。

部活動では、娘にとって初めて挑戦する事であり、時には壁にもぶつかりますが、幸いにも良き友に恵まれ悩みながらもそれを乗り越え、日々の練習の努力が日焼けした顔や手足を見るとよく分かるようになりました。

中学の三年間があっという間だったように高校の三年間も同じです。勉強も部活もこの三年間にしかできない事がたくさんあります。自分の選んだ道を後悔のないように頑張り抜いてくれる事を願いつつ見守っています。





## 特別進学選抜・特別進学コース 主任 大澤 香代子

長い夏休みが終わり、二期期が始まりました。特別進学選抜コース・特別進学コースの生徒達は、普段は補習や課題に追われ、夏休中も合宿講座や登校講座と、勉強から離れることはできませんでしたが、それでもある程度の自由な時間を満喫したことでしょう。一年生は、入学以来の緊張から解き放たれ、心身ともにリラックスできたでしょうか。しかし、生活のリズムを戻すことが難しく苦勞する生徒もいますので、二期期の始

まりは注意を要する時期でありま  
す。二年生は、高校生活折り返し  
地点を過ぎ、真剣に進路を考える  
時期がやってきました。また、部  
活動では三年生が引退し、自分た  
ちが活動の中心となり、責任感や  
リーダーシップを養い大きく成長  
する時期を迎えます。そして、三  
年生は、進路達成の正念場です。  
夏休み中も、新しく完成した学習  
室で、黙々と問題集に向かっている  
多くの姿を目にしました。早け  
ればあと二か月、遅くとも半年後  
には将来の方向性が決定している  
事でしょう。

全ての学年全ての生徒が、一日  
一日を大切に、高校生活が豊か  
で実り多きものとなるよう心より  
願っております。

## 一学年進学コース主任 菊池 弘幸

入学してあつという間に一学期  
が過ぎ、高校生活初めての夏休み  
も終わりました。勉強と部活の両  
立を目指す進学コースの生徒の多  
くは、真夏の炎天下を走り回った  
り、室内でも汗をかきながら一生  
懸命頑張っていました。全体とし

ではどのような夏休みであったの  
か気になるのですが、それは  
今後の生活に反映されてくること  
ですので大いに期待して見守って  
いきたいと思えます。

ところで一学期の進学コースで  
すが、二一四名の生徒の中で一五  
四名が皆勤でした。そして、惜し  
くも皆勤を逃した生徒の中には、  
一度の遅刻で逃している生徒も多  
く、全体として欠席や遅刻は少な  
い一学期間でした。また先ほどお  
話した部活動は、九十一名が運動  
部、一〇〇名が文化部に所属して  
おり、約九〇%の生徒が何らかの  
活動をしている現状にあります。

二期期はさらに沢山の皆勤者が出  
るように頑張ってもらいたいと思  
うと同時に部活動での活躍も期待  
したいところです。ところで、そ  
の二期期ですが、一年の中で一番  
長い学期で高校生活にも慣れた一  
年生にとっては腰を落着けて勉  
強に、部活に取り組める期間とな  
ります。つまりここでの取り組み  
方によって今後の成果に差が出る  
ことになるわけです。

世の中を見渡してみると、景気  
が回復してきたとはいえなかなか  
それを実感することができない状

況が続いています。また、大学は  
卒業してみたものの就職が決まら  
ないとか、就職を先に延ばすため  
に大学院に進学するなどという話  
も聞こえてきます。こんな時代だ  
からこそ自分の将来をしっかりと  
見据えて今できることをやらなけ  
ればいけないのではないでしょ  
うか。物は確実に豊かになり、高学  
歴にもなりましたが、定職につい  
て生活していくことはどうでしょ  
うか。二十年、三十年前と比べれ  
ば明らかに大変になっているので  
はないでしょうか。そして、この  
ような時代を生きていく若者には、  
いよいよ本当の意味での個性が求  
められているのかもしれない。

## 二学年進学コース主任 高橋 久雄

七月七日(日) 学年学級懇談会  
がたくさんの保護者の方に出席い  
ただき、無事に終了いたしました。  
お忙しい中、ありがとうございま  
した。今年の統一テーマは「進路  
について考える」ということで、  
第一部は十会場に分かれ、進路別  
講演会が行われました。これを機  
会に進路について、親子で考えて

頂けたらと思います。

さて、生徒の皆さんは本校でどのような高校生に成長していきたいですか。何を学び、どのような先輩、友人と出会い、どのような経験をしたいですか。将来進む方向は決まっていますか。また、そのためにはどのような上級学校へ進み、どんな勉強をしたらよいか理解していますか。

学校が皆さんにしてあげられることは、力を付ける手助けをすることです。この厳しい世の中で生き抜いて行くために身に付けなければならないのは、まず学力です。学校での勉強や定期試験を大切にしたいと思っています。どのような進路を選択するかが、皆さんの一生を左右するといっても過言ではありません。それだけにこのことについて真剣に取り組み、研究しなければなりません。早い時期から入試制度のしくみや、その制度の長所と短所をよく理解して対策を立てる必要があります。かけがえのない人生を悔いのない充実したものにするために、真剣に取り組むことが大切です。この世に生を受けたからには、それ

ぞれの人に果たすべき役割があります。自分の存在が、誰かの役に立つこと。そのために、何らかの知識や技術を身につけ、経験を積み、人間として成長することを目指して欲しいと思います。

高校生の段階で、自分の現在と未来を把握することは不可能に近いことです。ですから両親や先生、先輩たちのアドバイスに、謙虚に耳を傾けることも大切ですが、それ以上に、自分自身が自分の進路選択に真剣に取り組むことが大切です。これから歩もうとする道は他ならぬ自分自身の人生なので、すから。

高校生活というのは、社会へ出るための一つの転機です。厳しさの中にも明るい学校生活を実現し、本校を誇れる学校とするために、教師と生徒がお互いに助け合い、共に頑張っていきましょう。

三年進学コース主任

### 安 斉 義 宏

過日行われました学年学級懇談会では多数の保護者にご参加いただき、大変充実した会となり、ありがとございました。

生徒は高校生最後の夏休みも終わり進路実現へ向けての二学期が始まりました。すでに就職、進学への取り組みも始まり、大学、短大、専門学校ではAO入試による合格者も出ています。焦る必要はありませんが担任の先生の指示をしっかり確認し、自分のなすべきことを着実に実行してもらいたいと思います。

さて、卒業まであと半年となりました。思い起こすと二〇一一年東北震災後一ヶ月の日本中が動揺している中、入学式を迎えました。あれから二年半、授業や部活動に励み、様々な行事に取り組んできました。時には失敗も、時には不安や葛藤と戦いながらもここまで頑張ってきました。そして高校卒業まで残り半年となった今、生徒諸君には三年間の集大成として残された高校生活を充実したものにしたいと思っています。

生徒に対して三つのお願いがあります。一つ目は進路達成に向けて妥協せず、最後まで諦めず努力し続けてほしいと思います

二つ目はクラスやコースでの友情を深めてほしいと思います。今さらと思うかもしれませんがクラ

スという単位での生活は高校が最後だと思っています。日常の生活、学校行事を通じ、共に尊重し合い卒業後も友としていられる関係を築いてもらいたいと思います。

最後に三つ目は事の善悪をしつかりわきまえて行動してほしいと思います。最近のニュースの中でネット上の投稿動画の問題が取りざたされています。コンビニの店員がアイスケースの中に横たわるなど、信じられない行為が後を絶ちません。どんな気持ちで行っているのでしょうか？それがどれほど迷惑をかけ愚かな事なのか解らないのでしょうか？本校生徒には決してこうあってほしくありません。逆に一人ひとりが、周りの人も気分よく、うれしく思える様な行いを自然にできる、そんな生徒であってほしいと思います。

そして保護者の皆様にもお願いです。子供たちの進路は様々ですが半年後には独り立ちしていく時期です。立派に社会の一員となれるよう子供に対し干渉し過ぎず、温かく見守ってほしいと思います。

気が早いですが、成長した生徒たちの卒業式を楽しみにしています。

国際文化コース主任

## 鈴木啓明

毎年のことではあります。今年も六月には続々と留学生が帰ってきました。みな、長期滞在の結果、言語能力・コミュニケーション能力・異文化理解等々、様々な点で貴重な体験・修得ができたものと、その成果に期待しています。私の高校時代（今から四十年前）には、『留学』の言葉こそありましたが、身近に留学する者がいるわけでもなく、別世界の事のように受け止めていました。ところが、自分に出来なかつたこと、思いもよらなかつたことを生徒たちが経験し、実践している姿に接し、うらやましくも、頼もしく感じています。

今、世の中では、グローバル化とか世界標準などの言葉が飛び交い、言語能力の意味でも、バイリンガル、トリリンガルが当たり前



のように求められる時代となり、日本企業でありながら会議は英語で行われるといった話題も珍しくはなくなりました。

このような風潮にもかかわらず、なかなか外に目が向かずに、内向きな若者も増えているようです。例えば留学にしても、それぞれ置かれていた状況、立場は様々であるので、思いはあつてもなかなか実践できるものではないかもしれませぬ。であればどうするか。目を外に向けたということとは、実際に現地へ行かなくとも、今の時代、新聞、テレビをはじめ、インターネット等を利用することで、二・三十年前には想像も出来なかつたほどの情報を得ることが出来るし、言語習得の手段も昔とは比べようのない程多岐にわたつて存在しています。求められる能力・資質あるいは知識を認識し、修得した上で世の中に出て行くこととする姿勢を大切にしたいものです。要は、本人の意思次第だと思えます。

現在世界では、たくさん地域で戦争や紛争が絶えませぬ。この平和な日本で、先人が築いてくれた遺産を消費しつつ、消極的な人生を送るのではなく、外に目を向

け大きく飛躍してほしいと思つています。

総合ビジネス科主任

## 善如寺 孝益

総合ビジネス科として三年目になり、本年は科として初めて男子の卒業生を送り出す年となりました。ここで、広い意味での商業を含めた『実業』についてもう一度考えてみましょう。そもそも商業や工業・農業と『実業』をイコールにしがちですが本来は少し違います。まず『商業』とは、生産者と需要者の間に立つて商品を売買し、利益を得ることを目的とする事業。簡単に言うと『商品を持つてるヒトと、その商品をほしがつてるヒトを結びつけて、お金を稼ぐコト』となりますが、『実業』は明治に使われ始めた言葉で、『実際の生活に役立つ仕事』という意味です。『実学』とは、虚栄心を満足させるのではなく、実際に世の中に役立つ学問という意味が込められています。これは、江戸時代の朱子学に代表される学問

がいたずらに、『空理空論』となつていたことを批判して出来た言葉

らしく、『実際の生活に役立つ』という意味で、新しい文明開化の日本を象徴する言葉として生まれたと言われています。ですから、明治時代には『実業』という言葉は、燦々と光り輝く言葉だつたそうです。この『実学』『実業』を最初に唱えたのが慶應義塾大学の創始者福沢諭吉先生で、由緒ある言葉なのです。当時は『工業・商業・農業』などの学科を持つ高校を、明治時代の栄光の言葉として『実業高校』と総称しました。

『商業』という『実学』を学んでいる皆さん。どうか今まで以上に誇りを持って学んで欲しいのです。今の世の中、自己の虚栄心を満足させるだけの学問を学んでいる人も少なくありません。まずは常に人間として生き、生活の中で様々な勉強をして欲しいのです。挨拶する。マナーを守る。コミュニケーションする。人と人との絆や関わりを大切に。などはまさしくそうです。その上で様々な学習をしていきましょう。『実業』の基本は『実際の生活に役立つこと』なのです。

一学期が始まりました。『実業』を実践していきましょう。



## 全学年対象学校学校評価アンケート集計結果について



平成24年度末におけるアンケート結果が出ましたので、ご報告させていただきます。

傾向としては、生活面、健康面では概ね良好の印象を受けます。将来の自分の進路については、理解している生徒は70%を超えており、これも良い傾向です。「将来の夢」←「目標」←「計画」←「実行」という図式を見たことがありますが、家庭学習時間が毎日1時間以上である生徒は35%が該当していました。これは昨年度と同じであり、まだまだ不十分と言えましょう。夢を実現するための具体的な取り組みを決め、一つ一つそれをクリアして、さらに次のステップへと進んでもらいたいものです。

### 全学年対象学校学校評価アンケート結果

**評価内容** 4…よく当てはまる 3…当てはまる 2…あまり当てはまらない 1…全く当てはまらない  
0…分からない

**達成度** A…十分達成できた B…達成できた C…もう少しで達成できた D…達成できなかった

#### ●生徒全体

No.	質 問	平均	4	3	2	1	0	達成度
1	自分は2年次からの教育課程に満足している。(2・3年のみ)	3.0	23%	53%	15%	3%	6%	A
2	自分は「総合学習」「課題研究」に積極的に取り組んでいる。	3.1	28%	50%	17%	2%	4%	A
3	自分は授業が分かり易く工夫されていると感じている。	2.7	9%	50%	28%	3%	10%	B
4	各科コースガイドが日常の学習に役立っている。	2.4	8%	33%	35%	12%	13%	D
5	自分は学習に対して満足感、達成感を持っている。	2.6	9%	40%	35%	7%	9%	C
6	家庭学習時間が、毎日1時間以上である。	2.2	11%	24%	34%	25%	5%	D
7	自分は意欲的に学習に取り組んでいる。	2.6	11%	39%	35%	8%	6%	C
8	自分は高校生らしい服装、頭髪、言葉遣いをしている。	3.3	37%	49%	9%	1%	5%	A
9	登下校時や授業の開始、終了時に積極的に挨拶をしている。	3.1	29%	46%	19%	1%	4%	A
10	自分は、毎朝朝食をとり、生活のリズムが一定している。	3.2	42%	37%	14%	3%	3%	A
11	学校から提供されている進路情報が役立っている。	2.8	12%	46%	23%	5%	14%	B
12	保護者は、生徒の将来の進路志望について理解している。	3.1	28%	42%	15%	3%	13%	A
13	自分は進路指導関係の行事に積極的に参加している。	2.6	12%	37%	30%	9%	11%	C
14	自分は進路の適性をよく理解している。	2.8	14%	43%	24%	4%	15%	B
15	自分は進路実現に向けて積極的に取り組んでいる。	2.8	18%	42%	26%	4%	10%	B

#### ●保護者全体

No.	質 問	平均	4	3	2	1	0	達成度
16	子どもは2年次からの教育課程に満足している。(2・3年のみ)	3.1	21%	55%	13%	1%	9%	A
17	子どもは「総合学習」「課題研究」に積極的に取り組んでいる。	2.9	17%	50%	18%	2%	13%	B
18	子どもは授業が分かり易く工夫されていると感じている。	2.7	8%	45%	28%	3%	16%	B
19	各科コースガイドが日常の学習に役立っている。	2.6	9%	41%	28%	5%	17%	C
20	子どもは学習に対して満足感、達成感を持っている。	2.6	10%	42%	31%	7%	10%	B
21	子どもは家庭学習時間が、毎日1時間以上である。	2.4	12%	29%	36%	17%	7%	D
22	子どもは意欲的に学習に取り組んでいる。	2.6	12%	39%	33%	10%	6%	B
23	子どもは高校生らしい服装、頭髪、言葉遣いをしている。	3.3	38%	49%	9%	2%	3%	A
24	子どもは、家庭内で積極的に挨拶している。	3.1	31%	44%	19%	3%	3%	A
25	子どもは、毎朝朝食をとり、生活のリズムが一定している。	3.3	46%	35%	14%	3%	2%	A
26	学校から提供されている進路情報が役立っている。	2.8	13%	48%	23%	3%	13%	B
27	子どもの将来の進路志望について私は理解している。	3.0	25%	48%	19%	3%	6%	A
28	子どもは進路指導関係の行事に積極的に参加している。	2.7	12%	39%	28%	5%	16%	B
29	子どもは進路の適性をよく理解している。	2.8	15%	44%	25%	3%	13%	B
30	子どもは進路実現に向けて積極的に取り組んでいる。	2.8	19%	41%	27%	4%	10%	B



## 2013 未来をつなぐ北部九州総体(代替)、全国大会結果

クラブ名	期日	開催場所	成績
空手道部	8月7日 } 8月9日	長崎県佐世保市 体育文化館	<ul style="list-style-type: none"> <li>女子団体組手 3回戦敗退</li> <li>女子個人形 清水 那月 (F1-9) 2回戦敗退</li> <li>男子個人形 佐伯 魁莉 (F3-6) 1回戦敗退</li> <li>女子個人組手 白根 伽奈 (F3-8) 3回戦敗退</li> <li>中 藍香 (F3-10) 2回戦敗退</li> <li>男子個人組手 小峯 仁志 (F3-10) 3回戦敗退</li> <li>山田龍太郎 (F1-5) 3回戦敗退</li> </ul>
アーチェリー部	8月2日 } 8月5日	佐賀県武雄市 白岩運動公園	<ul style="list-style-type: none"> <li>男子個人 石田 拓実 (F3-2) 58位 山本 新 (S2-1) 107位</li> <li>堀口 祐太 (F2-7) 113位 深町 圭 (S2-1) 182位</li> <li>男子団体 23位</li> <li>女子個人 遠間あずさ (F3-7) 26位 荒井 彩香 (F3-8) 55位</li> <li>武井 智恵 (F3-5) 97位 長壁 千笑 (F3-6) 142位</li> <li>女子団体 15位</li> </ul>
フェンシング部	8月3日 } 8月7日	大分県日田市 総合体育館	<ul style="list-style-type: none"> <li>女子個人フルール 小林 亜美 (F3-8) <b>6位入賞</b></li> <li>高橋 伊吹 (F3-9) 2回戦敗退</li> <li>女子個人サーブル 高橋 伊吹 (F3-9) ベスト16</li> <li>女子学校対抗 ベスト8</li> <li>(小林亜美 (F3-8)・高橋 伊吹 (F3-9)・樺澤有紗 (F3-11)・新井はるか (F2-11)・登坂梨乃 (F1-10))</li> </ul>
囲碁部	7月23日	東京日本棋院会館	<ul style="list-style-type: none"> <li>第37回文部科学大臣杯全国高校囲碁選手権大会</li> <li>女子団体戦 一次リーグ 敗退</li> </ul>
	8月3日 } 8月4日	長崎県時津町 コスモス会館	<ul style="list-style-type: none"> <li>第37回全国高等学校総合文化祭囲碁部門</li> <li>県混合団体戦 五十嵐のぞみ (F3-1) 27位</li> </ul>
放送部	8月3日 } 8月5日	長崎県 諫早文化会館	<ul style="list-style-type: none"> <li>第37回全国高等学校総合文化祭放送コンクール</li> <li>ビデオメッセージ部門 「二人の愛情豆腐」</li> <li>オーディオビジュアル部門 「たるまに愛を込めて」</li> <li>文化連盟賞受賞</li> </ul>

### 編集後記

この夏は連日猛暑が続き、高知県四万十市では国内観測史上最高となる四十一度が観測されました。熱中症注意報もしばしば出され、暑さ対策も求められた夏休みでした。

今年のインターハイ(全国大会)は、この夏休み中に北部九州で行われ、空手道部、フェンシング部、アーチェリー部がそれぞれ出場し、フェンシング部の小林亜美さんが第六位に入賞しました。文化部では、放送部、囲碁部が全国総文祭に参加しました。

また第一校舎改築工事の関係で、八月五日から七日にかけて引越作業が行われ、第一校舎の機能は、全て第七校舎(三月末完成)へと引き継がれました。全校登校日には、予定通り先生方は新職員室から各教室へと向うことができました。

第一校舎は、正門を入ると真正面にある校舎で、本校の「顔」とも言える校舎でした。昭和五十一年に創立七十周年記念事業の一環として建築され、すでに三十七年が経過し、耐震の関係で今回の建て替えとなつたわけですが、今年を最後に見納めとなります。いざ解体となりますとやはり何か寂しい気持ちになり、「ご苦労様」と言つてあげたくありません。新校舎への期待感と同時に長年使用してきた愛着のある校舎への感謝と惜別の念が入り混じつた心境です。

二学期の行事では、九月に狂言鑑賞会、また十一月には球技大会が豊岡グラウンドと並履キャンパスを使って予定されています。父母の皆様には本校教育へのご理解とご協力をお願いいたします。

最後に、「商大附高だより 72号」に寄稿いただきました先生方、ご父母の皆様には感謝申し上げます。(高橋洋)



高崎商科大学附属  
高等学校  
マスコットマーク